



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 平成24年11月05日 第587号「週刊五十嵐レポート」

お土産

平成24年11月5日(月)から9日(金)早朝までアジアビジネス探索セミナー・ベトナムビジネスツアー(カンボジア含む)に行っています。アジアビジネス探索の第一人者、増田辰弘先生と共に総勢10名。ツアー内容は今回の五十嵐レポートと随時ブログに寄稿(写真・動画)していきます。

増田先生から訪問先へのお土産として成田空港にはない地元の和菓子等をさがしてもらいたいとの依頼あり。

まずは江東区亀戸にある船橋屋の「くず餅」。お店に行って、日持ちを聞くと2日間とのこと。2日間ではベトナムへは無理。「くず餅」はここで断念。

次に、葛飾区柴又帝釈天の「草だんご」へ。「草だんご」の日持ちはもっと短く、1日。「草だんご」は当日に食べないとダメ。「草だんご」も断念。

次に行ったのが新柴又にあるビスキュイ(町のケーキ屋さん:といっても行列ができる東京下町一番のケーキ屋)。ケーキ関係は日持ちもしないが、遠くへ運べない(くずれる)。それで1週間以上日持ちするのが「バターケーキ」。ようやくお土産は「バターケーキ」に決定。

ここでふっと脳裏に浮かんだのが、「強者の戦略と弱者の戦略」。強者は、遠くへ運びやすい商品。大衆を相手にする。使用頻度が多いもの。一方、弱者は遠くへ運びづらいもの。生もの。日持ちしないもの。小衆相手。

なるほど、多くのお土産は日持ちできるもの。日持ちできれば、遠くへ運びやすいものになる。すなわち大衆相手になる。だから成田空港のお土産は強者の企業の商品が並ぶ。代わり映えない。

食べ物に関して、強者と対抗するには、弱者は極力日持ちしないものを作ることになる。そして遠くに運べないもの。来ないと買えない。地域密着になる。商品力を磨き、来てもらえる仕組みを考える。

大衆を捨てれば、小さな会社でも戦える。

ちょっと
気になる出来事

今週は、ベトナムとカンボジアへの視察ツアー。今年の1月20日、増田辰弘先生主宰の「アジアビジネス探索セミナー」にはじめて参加(1月23日、第546号五十嵐レポートの「ちょっと気になる出来事」参照)。ここで増田先生と出会う。

増田辰弘先生は、法政大学ビジネススクールの教員。プラザ合意以降の第1次アジア投資ブーム時からアジアの日系企業を取材し、現在まで25年間で取材企業数は1500社を数える。今後15年で前人未踏の3000社を目指す。毎月1回東京で「アジアビジネス探索セミナー」を開催するほか、地方、アジアでも出前アジアビジネス講座を開講。

毎月のようにアジアへ取材。こんな人いない、差別化されています。

「町コン」五十嵐も「アジアビジネス探索セミナー」には都合をつけて参加するようにしています。会費3000円でも中身は濃いです。

増田先生と話をし一度一緒にツアーを組もうということで実現しました。やろうと思ったら出来るものです!



一口メモ
成功の秘訣

現代社会に不可欠なもの

知識労働者は先進国において急速に主たる資源となりつつある。知識労働者は主たる投資にもなっている。教育こそ、投資のうち最も高価だからである。知識労働者は、ますます大きなコストセンターとなりつつある。

知識労働者の生産性の向上は、先進工業社会に特有のニーズである。先進工業国の肉体労働者は、そのコストにおいて発展途上国の肉体労働者よりも競争力がない。

それゆえ知識労働者の生産性のみが、低賃金の発展途上国との競争下で先進工業国における高度の生活水準を可能になる。

知識労働者の生産性に劇的な成果は生じていない。

問題の鍵はエグゼクティブの成果をあげる能力である。

P.F.ドラッカー著「経営者の条件」(ダイヤモンド社)

- 週刊五十嵐レポート 毎週月曜日発行 ● 月刊五十嵐レポートダイジェスト
- 町コンランチエスター経営戦略塾「会社成功塾」 毎週日曜日 午前10時~12時。
- 町コン・ランチエスター経営戦略セミナー 毎月東京開催

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

03-3659-7703 Fax 03-3659-7077 tigaras@attglobal.net

